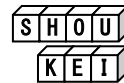




令和3年度
杉並区立松溪中学校



松溪だより

6月号



<http://www.suginami->

教育目標

- 自学・自立
- 思いやり・感謝
- 鍛錬

運動会の風景から—自他への「思いやり」が育てる力—

校長 辻 成一郎

運動会の最初の種目が終わった時のことでした。拍手が生徒席の3年生から全体に広がっていきました。力強いというよりも、穏やかな温かい心のもった拍手でした。ある1年生が、作文にこんな風に書いています。

…私はこの運動会を通して、松溪中学校の運動会って、こんなに温かいんだ、と思った。一つのレースが終わるごとに温かい拍手が送られる。一人ひとりが友達や先輩に、心からのエールを送る。クラス、学年をこえて、学校全体が一つになる。この友情のつまった運動会が、いつまでも続くよう、来年も再来年も、全力で頑張りたい。

運動会は体育の授業の成果を発表し、互いに力を競うものです。各種目に得点が決められ、学級対抗で順位を競います。現に、競技は素晴らしいものでした。誰ひとり手を抜かず、転んでも遅れても最後まで走り切り、2年生は、大縄で3年生以上の回数を記録し、3年生は、松溪ソーランの息の合った踊りや競技の迫力で後輩たちを圧倒しました。

松溪中学校の運動会は、それらの真剣な競い合いを、健闘へのねぎらいの拍手が覆う、温かい「思いやり」に満ちたものになりました。

「思いやり」とは、親しみの感情から生まれるものです。対等の想い(=友情)から生まれることで、温かい「思いやり」になるのです。それが、頑張った者の心を温かく満たしてくれます。

そして、校庭に響いた声援は、その「思いやり」が生み出したもう一つの姿です。ある3年生は、こんな風に綴っています。

…長距離走は、辛く苦しい孤独な戦いだと思っていた。が、そうではなく応援があることで花開くものだとなった。声を張り上げて応援してくれた友達、後輩、先生。練習についてきてくれた家族。支えられていたから、走りきることができたのだ。…今回長距離走に選んでもらったおかげで、見えないゴールに向かって少しずつ積み重ねることの大変さ、そして達成感を味わうことができた。結果が出なくていい。過程が大切なのだと思えた。

B組は優勝を逃してしまっただが、…悔いはない。

優勝よりも大切な、「思い出」が私の心に刻まれた。B組でよかった。松溪中でよかった。そう思えた最高の運動会になった。ありがとう、みんな。ありがとう、自分。

2つの作文では、苦手な長距離走に選ばれたおかげで大切なことを体験できてよかったと書いています。他にも、多くの作文に、いろいろな人から支えられ、応援されることで、頑張れたことが書かれています。その気持ちがあるからこそ、相手への更なる「思いやり」が生まれてくるのです。

もう一つ、素晴らしいと思うのは、自分への「思いやり」です。

結果だけを見て、ダメだなと思い、自信を失うこともあります。しかし、頑張った自分を、労わってあげられるやさしさは、他者にも向き、周りの人間をも労わり、ねぎらうことにつながります。中途半端な自尊心ではなく、自分への「思いやり」も大切です。

運動会の温かい拍手には、そんな「思いやり」の連鎖が、隠されています。

その連鎖は、「楽しさ」も生みます。多くの作文には、優勝できなかったけど「楽しかった」と書かれました。全力を尽くした達成感や力を合わせる中で生まれた一体感は、「楽しさ」という想いにつながっていきました。

「思いやり」の連鎖から生まれた「温かさ」と「楽しさ」は、先生方が素晴らしい作文が多く選びきれないと悩んでいたくらいですから、多くの生徒が共有した想いだったのでしょう。

閉会式後の生徒たちは、生徒に倣って私が選んだ一字「颯」にふさわしく「颯爽」としていました。そして、本部から生徒席すべてを覆って張られた大小26張のテントも、楽しんで助け合う生徒たちの力で、見事に片付けられていきました。

スローガン「超えろ過去を 輝け自分よ」を見事に実現した生徒たちの「思いやり」の連鎖が、更に新しい力を生み出していくことを期待しています。

最後に、新品のテントまでも快くお貸しくださった桃井第二小学校と、生徒席確保のために、観覧できない状況を受け入れ理解して下さった、地域や保護者の方々に心より感謝申し上げます。動画配信を楽しみにしてください。ありがとうございました。

教育活動の紹介

運動会練習始まる（6月2日～）

緊急事態宣言が6月20日まで延長されましたが、「三密」を避け、感染拡大防止を行いながら、運動会練習が始まりました。1年生は中学校に入って初めての全校行事。2年生も全校で行う運動会は初めて。3年生は中学校最後の運動会。それぞれの想いを胸に秘め、栄冠を勝ち取るための練習が始まりました。

1年生

マスコットキャラクター作成中



2年生

リレーの説明中



3年生



全校練習（6月3日）



運動会予行
（6月8日）



熱中症対策として、ミストシャワーを設置しました。



令和3年度運動会(6月12日)

例年ならば梅雨の季節。この時期の運動会は雨の心配をしますが、今年は見事に晴れました。

熱中症対策として桃井第二小学校からテントをお借りし、生徒席に配置。ミストタワーも2基設置したことで、熱気の中にも涼を感じることができました。

コロナ禍において保護者や来賓の方をお招きできずに行われた運動会。昨年は「学年別競技会」でしたが、2年ぶりに3学年が揃い、感染対策を十分に取ながら実施することができました。

各学年のレースが終わるたびに賞賛の拍手。クラスや学年の壁を越え、一生懸命に取り組む生徒の姿にマスク越しの声援。やはり、運動会は全校生徒で行うべきとあらためて感じました。大きな怪我、事故もなく、全員が達成感の笑顔で無事に終了することができました。保護者の皆さま方、地域の皆さま方、ご理解、ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

開会式・選手宣誓・ラジオ体操



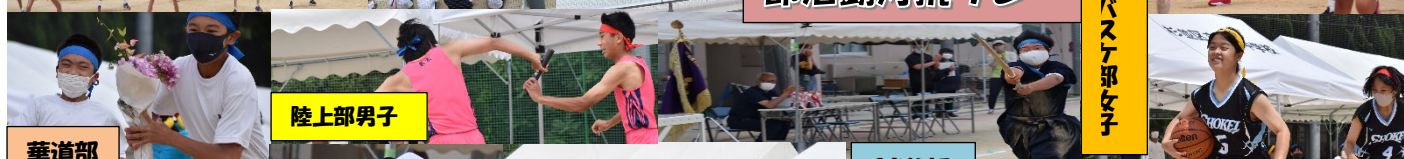
ハードル走



3年生 松浜ソーラン



部活動対抗リレー



華道部



陸上部男子



剣道部



JRC部



陸上部女子



野球部



バスケット部男子



茶道部



美術部



サッカー一部



ソフトテニス部



卓球部男子



バレーボール部 卓球部女子



吹奏楽部





夏季選手権大会の結果

運動部の3年生にとって「最後の夏」。夏季選手権大会の結果報告です。

陸上競技部

6月5日(土)、6日(日)、江東区夢の島陸上競技場で行われた「第72回東京都中学校地域別陸上競技大会」にて表彰された選手は以下の通りです。

- ☆男子西部共通400メートル走 **優勝** 西地 欧輔(3年) ☆男子西部走幅跳 **優勝** 辻 晴太(1年)
- ☆男子西部1年100メートル走 3位 辻 晴太(1年)
- ☆女子西部1年100メートル走 7位 池田 夏埜(1年)
- ☆男子西部共通100メートル走 山口 駈(3年) 東京都大会出場決定
- ☆女子西部低学年4×100メートルリレー 5位(2年…平井菜結、山本真由、1年…北川鞠杏、岡田恵理)

野球部

松溪中学校野球部は1年生を含め6名。単独でチームを組めないことから、向陽中と天沼中の野球部と合同チームを組んでいます。

令和3年度杉並区中学校野球選手権大会 **3位**

2回戦(6月6日)対西宮中戦 6-3で勝利。準決勝(6月20日)対日大二中戦 0-7で惜敗。

サッカー部

令和3年度杉並区中学校サッカー選手権大会 **準優勝**

【決勝トーナメント】

- 2回戦(6月13日)対井荻中戦 5-0 ■準決勝(6月20日)対宮前中戦 3-0
- 決勝(6月20日)対國學院久我山中戦 0-1 (第3ブロック大会出場決定)

剣道部

令和3年度第51回第3ブロック夏季剣道大会 男子団体戦 **ベスト8**(東京都大会出場決定)

1回戦 練馬区立大泉中戦 4-1 2回戦 武蔵中(練馬区) 4-0

準々決勝 練馬区立関中戦 0-5で敗退。

男子個人戦(6月13日)は出場選手3名があと一歩のところまで都大会出場ならず。

7月の予定

- | | | |
|-------------------------|------------------|----------------|
| 1日(木) 定期考査、専門委員会 | 10日(土) 土曜授業 | 19日(月) 大掃除 |
| 2日(金) 3年進路講演会、中央委員会 | 12日(月) 朝礼 | 20日(火) 終業式 |
| 4日(日) 杉並中学生レスキュー隊発足式 | 13日(火) 避難訓練(不審者) | 21日(水) 三者面談(始) |
| 5日(月) 生徒集会、学びの教室1学期最終日 | 14日(水) 職員会議 | 夏季パワーアップ |
| 7日(水) 小中合同研修会のため5時間目カット | 16日(金) 3年復習確認テスト | 教室(始) |
| 9日(金) 第1回進路説明会 | 学習説明会(6校時) | |